

# むさしの自作ビオトープメカニズム(ときどき更新)

ビオトープに完成はありません。毎年植物は育ち、様々な生物が加わり、春夏秋冬、様々な姿に変わっていきます。中には、大量発生したり、いなくなってしまう生き物もいると思います。しかしながら、どうしたら生態系のバランスを維持できるか、何かを加えたり、環境に変化を与えたり、隠れ場所を作ったり、常に観察し、研究し、工夫をしながら育てていくことが目的となります。

子どもから大人までが参加する、ビオトープ研究チームとかも、作ってみたいです。(NPO 法人準備中！)



## 【生息するもの】

各種鳥類、動物(タヌキ?アライグマ?ハクビシン?)、ギンヤンマ、アオモンイトトンボ、トンボ、…  
 カワニナ、ヤゴ、カエル、クサガメ、スジエビ…  
 オイカワ、カワムツ、モロコ、ギンブナ、ドジョウ、メダカ、…  
 ブナ、モミジ、ウメ、ザクロ、クワ、マキ、ロウバイ、ヒメリンゴ、カボス、レモン、…  
 ユキノシタ、ミョウガ、ヤブミョウガ、エゾミソハギ、チグサ、タケニグサ、オランダハッカ、ギボウシ各種、ゼニバアオイ、ツワブキ、シャガ、台湾ホトトギス、セリ、クレソン、フトイ、ミソソバ、ハルタデ、…  
 花各種(鉢植えのホスピス)、

【上の池:水深 1.2m】  
 スイレン、ハス、ジュンサイ、ショウブ、

【水田】  
 イネ(モチ米)、

【下の池:水深 0.7m】  
 スイレン、

- 大雨時、排水①の許容を越えた場合、排水②③④が機能。学園全体に埋められた浸透ピット(総延長80m)&および浸透井戸(深さ6m×4カ所)へ。→そして海へ。
- D・E・Fの各区域は、堰①②③により、それぞれ区域ごとに水面高の調節が可能。
- 春夏秋冬、天候、一年を通して多様に変わり巻き起こる現象を目にし、学び、考え、工夫し、試す、といった一連の行為を実験、学び、トライとして位置付けていく。

